

## 報告事項 4

愛知県義務教育問題研究協議会の報告について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成25年3月26日

義 務 教 育 課

# 児童生徒の言語活動の充実を図る指導の手引

愛知県義務教育問題研究協議会

## 1 手引作成の目的について

本手引は、「児童生徒の言語活動の充実を図る指導」に役立てるために作成しました。小・中学校の先生方には、学校での様々な教育活動の中で、言語活動の充実を図る場合の参考として活用していただきたいと思います。また、保護者や地域の方々には、現在、小・中学校でどのような教育活動が行われているのかを知っていただくとともに、家庭や地域での取組の参考にしていただきたいと考えています。

## 2 手引の配付について

平成25年3月末、「愛知県教育委員会義務教育課」のホームページにダウンロード可能な電子媒体として掲載します。

## 3 手引の概要について

手引は、大きく「理論編」と「実践編」に分かれています。

「理論編」では、愛知県の児童生徒や小・中学校の実態を基に、言語活動の充実を図るために、以下の三つの提言をしています。

- ・ 提言1「読むことや書くことによって、言葉に親しませ、言葉の世界を広げよう」
- ・ 提言2「国語科の授業で、言葉の力の基本を身に付けさせよう」
- ・ 提言3「各教科等で言葉の力を発揮させ、児童生徒の考えを深めよう」

提言1では、日常生活から「読むこと」「書くこと」に対する働きかけを重視して、児童生徒の言葉の力を育み、提言2では、国語科の授業によって、児童生徒が日常的に育んでいる言葉の力に、核となるべき「基本」を身に付けさせ、提言3では、各教科等においてこの言葉の力を発揮させ、目標の実現を図ることを目指します。そして、この三つの内容を繰り返すことで、児童生徒の思考力、判断力、表現力は育まれるという主旨となっています。

「実践編」では、提言1の事例として、主に日常的に「読むこと」「書くこと」、学校内での「環境づくり」に関わって7事例を紹介し、提言2の事例としては、国語科の授業における「読むこと」「書くこと」を中心とした7事例を紹介し、提言3の事例としては、各教科等での言語活動を充実させる13事例を紹介し、

## 4 手引の構成【目次】について

- はじめに
- ホームページ利用に当たって
- < 理論編 >
  - 言語活動の充実を図るに当たって
  - 1 言語活動とは何か
  - 2 言語活動の充実に必要なことは何か

## 言葉に関する愛知県の児童生徒の現状

- 1 全国学力・学習状況調査より
- 2 愛知県義務教育問題研究協議会中間報告書より

### 言語活動の充実を図るための「三つの提言」

#### 提言1 読むことや書くことによって、言葉に親しませ、言葉の世界を広げよう

- 1 本を読み、言葉に親しむ習慣を身に付けよう
  - (1) 本に親しみ、本を読む場を設定しよう
  - (2) 本を紹介し、児童生徒の読書意欲を持続させよう
  - (3) 読書メモを活用して、言葉を蓄えさせよう
- 2 文を書き、言葉で表現する習慣を身に付けよう
  - (1) 毎日こつこつと書く場を設定しよう
  - (2) 自らの考えや思いを言葉で表す習慣を身に付けさせよう
  - (3) 書いた作品はノートやファイルに保存させよう
- 3 言葉に親しみ、言葉の世界を広げる環境づくりをしよう
  - (1) 学校図書館活動を充実させよう
  - (2) 掲示物を工夫して、言葉に関心をもたせよう
  - (3) 児童生徒とともに教師も言葉の力を高めていこう

#### 提言2 国語科の授業で、言葉の力の基本を身に付けさせよう

- 1 実生活で生きてはたらく国語の力を身に付けさせよう
  - (1) 国語科の育成すべき能力を認識しよう
  - (2) 国語科の指導事項を確認しよう
  - (3) 国語科で行われる言語活動例を確認しよう
- 2 言語活動の充実を図る授業を構想しよう
  - (1) 単元に身に付けさせたい力を明確にしよう
  - (2) 単元を貫く言語活動を位置付けよう
  - (3) 児童生徒の意欲や目的意識を大切にしよう
  - (4) 指導すべき内容の重点化を図ろう

#### 提言3 各教科等で言葉の力を発揮させ、児童生徒の考えを深めよう

- 1 各教科等で言語活動の充実を図る授業を構想しよう
  - (1) 児童生徒に身に付けさせたい力を明確にしよう
  - (2) 言語活動に関わる児童生徒の実態を把握しよう
  - (3) 児童生徒が学んだ国語科の言語活動を把握しよう
  - (4) 各教科等の特質を踏まえ、単元に言語活動を位置付けよう
- 2 児童生徒が自らの考えを深める言語活動を充実させよう
  - (1) 基礎・基本となる重要語句は確実に身に付けさせよう
  - (2) 授業に位置付ける言語活動の対象と内容を明確にしよう
  - (3) 授業を振り返らせて、自らの思いや考えを書く時間を設定しよう
  - (4) 各教科等で行われる言語活動の成果と課題を共有しよう
- 3 児童生徒の言葉の力を育む視点から、学校全体の教育活動を見直そう

<実践編>

言語活動の充実を図る事例

1 日常的な取組（提言1）

- (1) 【書くこと】(小学校)音読・群読で言葉に親しみ、言葉の世界を広げる取組
- (2) 【書くこと】(小学校)書くことに親しませる「三行日記・生活体験作文」
- (3) 【環境づくり】(小学校)読むことが好きな児童を育む学校図書館活動
- (4) 【環境づくり】(小学校)言葉に関心をもつ児童を育てる掲示物の工夫
- (5) 【読むこと】(中学校)読書の楽しさを感じさせる「朝の読書」
- (6) 【読むこと】(中学校)読書習慣を身に付けさせる「ブックウォーク」
- (7) 【読むこと・書くこと】(中学校)読書タイムに行く、新聞のコラムを活用した取組

2 国語科の授業での取組（提言2）

- (1) 【書くこと】(小学校全学年)よく書く児童を育てるノート指導
- (2) 【書くこと】(小学校3年)集めた資料を活用し、説明する文章を書く授業
- (3) 【読むこと】(小学校4年)段落パズルの完成を通して、全体構成・内容を読み取る授業
- (4) 【読むこと】(小学校5年)表現の違いから書き手の意図を読み取る授業
- (5) 【書くこと】(中学校1年)相手や目的を意識して内容や言葉を選び、文章で表現する授業
- (6) 【読むこと】(中学校2年)描写を根拠に考えを伝え合い、読みを深める授業
- (7) 【書くこと】(中学校2年)モデル資料を基に、意見文の効果的な書き方を考える授業

3 各教科等での取組（提言3）

- (1) 【生活科】(小学校1年)調べたことを順序に沿って説明する授業
  - (2) 【理科】(小学校3年)観察の結果や考察を通して、科学的な言葉や概念を習得する授業
  - (3) 【道徳】(小学校3年)話し合いの場の充実によって考えを深め合い、心を育てる授業
  - (4) 【総合的な学習の時間】(小学校4年)「豊橋筆」のよさをつかみ、分かりやすく伝える授業
  - (5) 【算数科】(小学校5年)「学び合いタイム」を通して、数学的な考え方を見出す授業
  - (6) 【家庭科】(小学校5年)児童相互の関わりを通して、基礎的な知識・技能を身に付ける授業
  - (7) 【体育科】(小学校6年)児童の思いを生かし、ルールを考えさせるソフトバレーボールの授業
  - (8) 【技術科】(中学校1年)「構想」「組立」の場に言語活動を設定する授業
  - (9) 【英語科】(中学校1年)自己紹介スピーチを通して、自己表現をする力を育む授業
  - (10) 【美術科】(中学校2年)主題に対する思いや考えを伝え合う授業
  - (11) 【社会科】(中学校3年)地域をよりよくしようと願い、自分の考えを提案する授業
  - (12) 【音楽科】(中学校3年)音楽を共有するための言葉を育む授業
  - (13) 【特別活動】(中学校3年)生徒の意見や課題が「見える」話し合い活動を取り入れた授業
- ことばの学習活性化推進事業

- 言語活動の充実を図る指導の手引作成協力者
- 参考資料・リンク集